

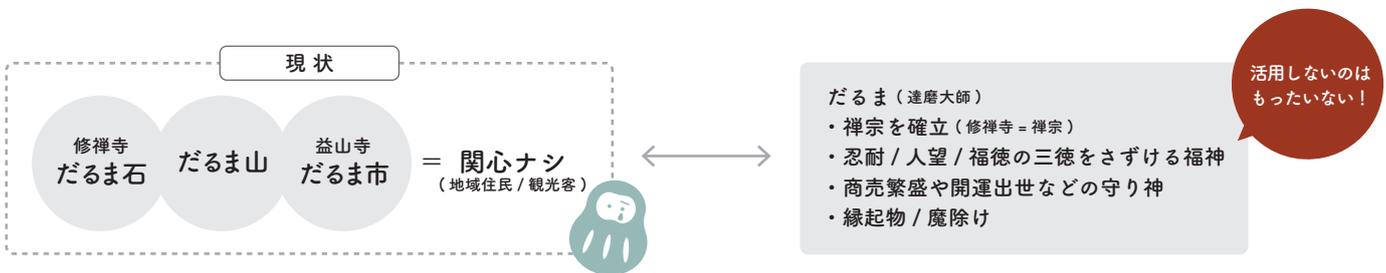
概要

修善寺に縁のある「だるま」を軸として新規の商品やイベントを包括的に企画し、地域全体を通して一体感のある取り組みを行う。

背景

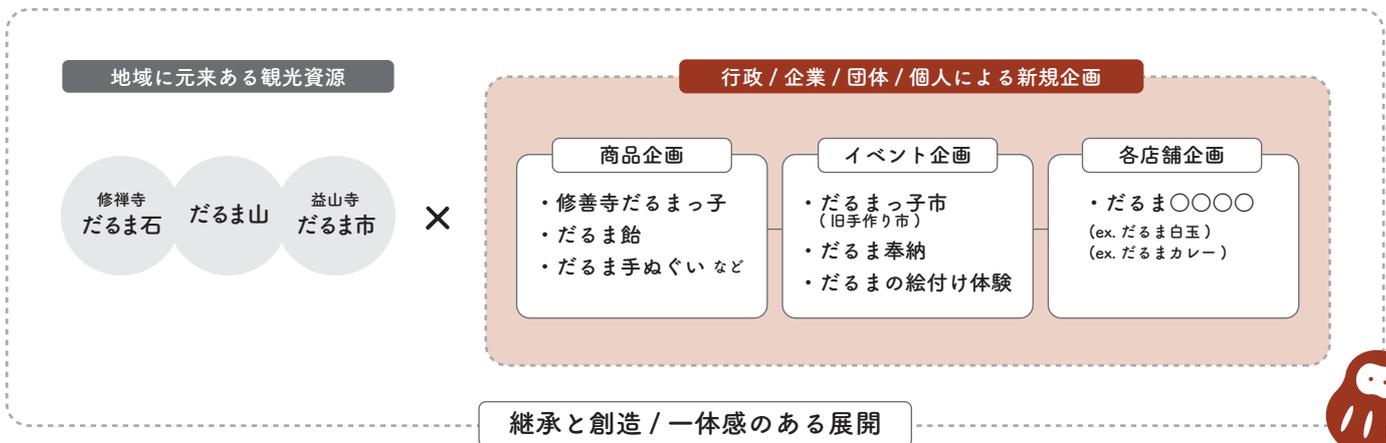
修善寺地域の中心となる修禅寺の境内には、江戸時代に奉納されたとされる「だるま石」が置かれている。他の寺院ではみられない特異なアイテムにも関わらず、地元の人はもちろんのこと観光客からも関心を向けられていない。また、当地域は富士山の絶景スポットとして知られる「だるま山」の近隣に位置している他、益山寺の「だるま市」など、地域内に「だるま」に関連した事物が点在している。また、**当地域の小学校では、達磨山の麓で育つ子供たちのことを「だるまっ子」と呼び、学級目標や学級通信にも「だるまっ子」という言葉を現在も用いており、地域住民にも馴染みの深いモチーフである。**

これらのことから、当地域と縁がある「だるま」に新たな観光資源としての有用性を感じ、今回の企画を立案した。



目的

「だるま」という共通のアイコンを用いて地域内に同じ世界観の商品やイベントを融合させ、地域ブランドの形成を図る。修善寺といえば、「温泉 / わさび / しいたけ / 文豪ゆかりの地」など、**これまではカタチの見えづらい要素が多く、“修善寺らしさ”を捉えることが困難だった。**しかし、「だるま」は、**すでに誰もが共通認識としてカタチを捉えているため、商品などへの展開もスムーズに行うことが可能である。**統一したコンセプトの中で、複数の商品開発やイベント企画を行うことで注目度を高め、結果として観光客のさらなる獲得へと繋げていく。



具体案

イベント企画：修善寺だるまっ子市



かつて開催されていた「修善寺手づくり市」(2015年終了)は地域内外から復活を望む声が多く聞かれる。そこで、「修善寺だるまプロジェクト」の一環として、新たに実行委員を組織し、「だるまっ子市」の名称で地域内外の人々の交流の場として開催する。伊豆市内活動するクリエイターや飲食業の方々を中心に出展者を募集し、修善寺温泉場のイベント行事として地域内外からの集客を計り、地域のにぎわい創出へと繋げる。初回は、6月16日(日)にさわやかウォーキングのもてなしイベントと合同で開催し、その後は2ヶ月に1回程度の周期で定期的な開催する予定。

■ 各ツール

- Web サイト



- リーフレット (160mm*62mm)



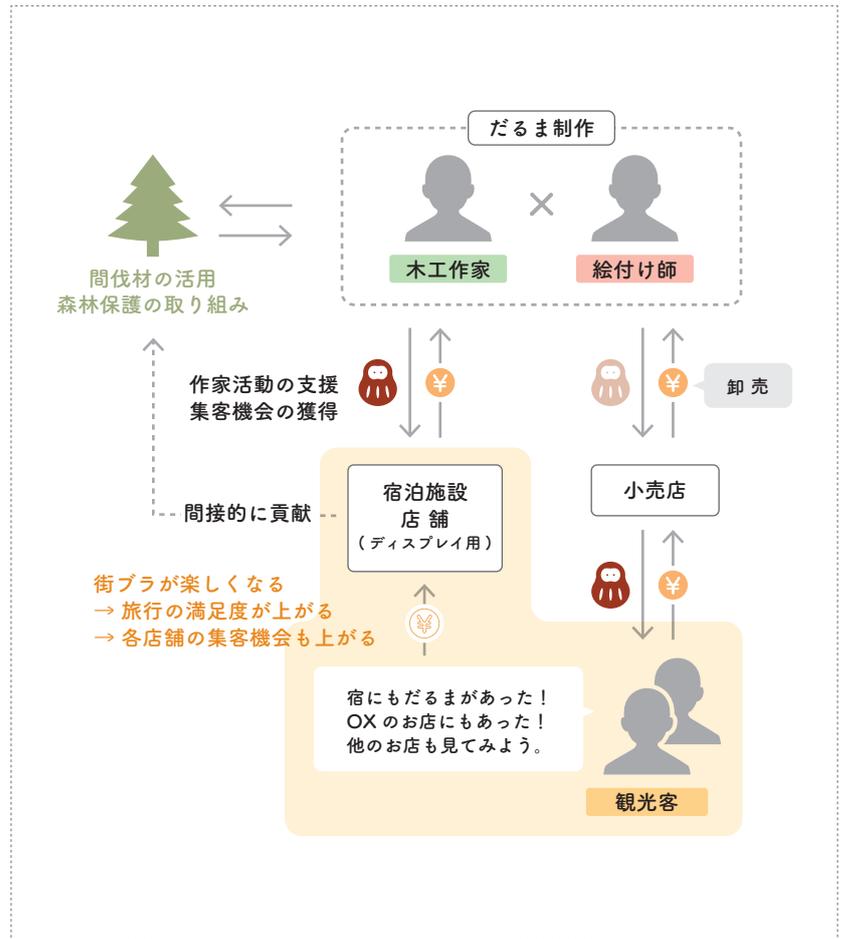
新規商品企画：修善寺だるまっ子

伊豆在住の木作家が地域の間伐材で本体を作り、イラストレーターや工芸家が絵付けを行う、完全オリジナルのだるま。

伊豆の間伐材を活用して作られており、商品の購入が作家の活動支援や、森林保護にも繋がる仕組み。

達磨山の麓 修善寺温泉では、古くから子供たちのことを「だるまっ子」と呼んでいることから、商品名を「修善寺だるまっ子」とした。

地域内の店舗にも各店舗オリジナルの絵柄で販売を行う。設置店舗がふえることで、「だるまラリー」のようになり、集客機会のきっかけを増やすことができる仕組み。観光客が「修善寺だるま」のコレクションを目的に街ブラを楽しむ流れを作り出す。



新規商品企画：だるま関連商品（仮）

- ・黄金のだるまっ子 だるまの形をしたべっこう飴
- ・だるまっ子手ぬぐい 浜松注染を用いた手ぬぐい